

決算に対する討論



平成23年度決算は、起立多数をもって認定されましたが、6名の議員が各会派を代表して、同決算に対する賛成討論、反対討論を行いました。その概要は次のとおりです。

海友会

賛成

一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

▽本市にとって23年度は市制施行40周年の節目に当たる年でした。例年、実施している全66事業に市制施行40周年記念とただ冠を付した事業では、本来の記念事業とはいえないため、後世の記憶に残る事業とならず残念でした。▽厳しい経済状況の中でしたが、一番の

財務である市税の収納を前年比で0・25ポイント伸ばし、収納率を94・71%まで向上させた職員の努力を評価します。▽東日本大震災を教訓に防犯カメラの設置や大型防災備蓄倉庫の整備、物資運搬用車両の購入、非常用電源設備の設置など、さらなる安全安心のまちづくりに努めたことは時を得た事業と評価します。▽文化会館等大規模改修事業や総合体育館空調設備設置工事、さらには道路用地購入事業などまちづくりにおける計画的な推進に努めました。▽駅間部整備事業は西口区画整理事業や財源の効率的執行の観点からも早期の工事着手と26年度完了を強く望みます。

創新海クラブ

賛成

一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

▽東日本大震災の被災地に向けた各種支援策、市内の防災機能強化策の推進を評価します。▽市税収入が減少する中、国県支出金や繰入金の積極的な活用を評価します。▽まちづくりに要する経費増加が予想されるため、市債の活用は財政に

及ぼす影響を見極めながら適正な運営を望みます。▽海老名インターに対応した道路網整備は、都市の骨格を築き上げる重要な事業と考えます。▽子ども医療費助成事業を中学校修了前まで拡大し、子育てがしやすい街・元気なまちづくりが

一歩前進しました。▽新たな優良農地の拡大は、駅周辺の開発が進む中で、バランスのとれた発展につながり評価します。▽（仮称）市民活動支援施設の運営は市民に愛される施設となるよう市民目線に立った工夫を望みます。▽市制施行40周年事業は、参加された多くの市民とお祝いができ、海老名に住んで良かった、住み続けたいという気持ちになったと確信します。

ニュー市政・みんなのクラブ

賛成

一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

▽景気の先行き不透明感が高まり、市税収入を取り巻く環境も厳しい状況の中、歳出面において効率的、効果的に支出されたことを評価します。▽財政指標について財政力指数をはじめいずれの指数も県内他市と比

較して良好な内容であることを評価します。▽東日本大震災の教訓から、大型備蓄倉庫の整備や小学生への防災用品配布などいち早く防災機能強化に取り組まれたことを評価します。▽文化会館など大規模改修事業をはじめとする投資的経費が増加しているが、これは、まちづくりの計画的な推進や教育環境の充実に向けた適正な社会資本整備と考えます。▽国民健康保険事業について、保険給付費が増加したが、これも全国的な課題である高齢化社会にあることは必然的な成り行きと判断します。▽23年度決算は、市の将来都市像「快適に暮らす魅力あふれるまち海老名」の実現に向け、着実に事業が実施されたものと高く評価します。

公明党

賛成

一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

▽被災した姉妹都市白石市に対し、救援物資を運搬する手段として、米軍厚木基地のヘリコプターを利用し、迅速な救援施策を実施したことを評価します。▽震災の教訓から、大規模防災倉庫設置計画を策定し、北部地区に倉庫を設置するなど市民の命と生活を守るため、貴重な財源を重点的に投資し、災害に強いまちづくり

を目指した積極的な防災施策の実施を高く評価します。▽小児医療費助成制度拡充は、県内他都市に先駆けて



上星小に完成した大型防災倉庫

の実施であり、その英断を評価します。▽東日本大震災の影響による夏の電力対策の一環として、統計的に来庁者が少ない水曜午後に閉庁し、土曜午前を開庁する取り組みと節電キャンペーンの実施、また、企業の土日稼働に対応し、市立保育園で土日預かりを実施したことを高く評価します。▽税収減の中、事業の選択には苦慮したと思われるが、市民の安全・安心に重きを置いた健全な予算執行を高く評価します。

市民・ネットの会

反対

下水道事業特別会計については賛成しますが、一般会計決算について反対します。

▽失われた10年、就職氷河期といわれつつも、景気に明るい兆しが見え始めてきたさなかにリーマンショックが起きました。その後、景気はさらに低迷し、いつしか失われた20年といわれるようになりました。小泉内閣以来の規制緩和による所得格差が拡大する中、23年3月11日東日本大震災が発生しました。▽東日本大震災以後、市民生活を取り巻く環境は一変したにも関

わらず、市は、以前と変わらず「まちづくりの正念場」と称して各種事業を推進しています。特に、緊急性を感じない北海道登別ツアーや住宅リフォーム助成などの事業を補正予算を組んでまで実施することは大きな問題です。▽今後、本市に求められるものは、市民への情報公開と情報共有と考えます。これまでの政策決定の過程を見直すべきです。▽市は、議会軽視といわれても仕方のない補正予算の提案は改めるべきです。

日本共産党

反対

下水道事業、介護保険事業特別会計決算には賛成し

ますが、一般会計決算とその他2特別会計決算には反対します。

▽これまで提案要望してきた子ども医療費助成を中学校修了前まで拡大したこと、他自治体と比較してもトックラスの水準にある住宅リフォーム助成を創設したこと、少人数学級を推進したことに関しては高く評価します。▽国民健康保険事業については、国保税は負担割合が高く、家計を圧迫しています。余儀なく滞納し、必要な医療が受けられず危険に直面している市民もいます。市民生活を守ること

は、市の大きな責務と考えます。▽海老名駅西口開発事業は、東口を含めた市内

文教社会常任委員会

(5月21日～23日)

- 熊本市八代市・小中一貫・連携教育推進計画について
- 福岡県大牟田市・災害時等要援護者支援制度（ご近所支え合いネット）について
- 佐賀県武雄市・ICT人材教育・活用事業（教育情報化事業）について

経済建設常任委員会

(5月15日～17日)

- 宮崎県延岡市・土地区画整理事業について
- 大分県臼杵市・ほんまもん有機の里「臼杵市土づくりセンター」について
- 福岡県久留米市・環境学習事業の概要について

常任委員会活動レポート

他の自治体で取り組まれている先進事例を学ぶため、各常任委員会で行行政視察を行いました。視察テーマは次のとおりです。

総務常任委員会

(5月16日～18日)

- 北海道登別市・消防体制の充実について、特定非営利活動法人による施設運営管理について
- 北海道小樽市・フェイスブック・ツイッターを活用した情報発信事業について、定住自立圏構想について
- 北海道江別市・河川防災ステーションの概要について、DIG（ディグ）図上訓練の実施状況について

詳しい内容は会議録で

9月定例会の会議録を作成中です。12月には市役所1階の情報公開コーナーや中央図書館で閲覧できますので、ご利用ください。市のホームページでも見ることができます。

議員研修会を開催

7月17日、全員協議会室において、全国市議会議長会の廣瀬和彦氏を講師に招き、「議会基本条例について」をテーマに議員研修会を開催しました。

議会改革と議会基本条例についての概要説明の後、他市の制定状況や制定時の留意点などについて丁寧な説明がありました。議員からも活発な質疑があり、2時間にわたる研修会は有意義に終了しました。

「基本条例を制定することは議会改革をするための一つの手段であり、目的ではない。」との講師の言葉が印象に残りました。今回の研修を参考に議会内で議論を尽くし、できるところから取り組む考えです。